



Vol. 20

発行日 平成 24 年 8 月 Vol.20
発行元 望月芳将後援会
会長 渡辺 博司
〒418-0067 富士宮市宮町 2-9
Tel 0544-26-4421 Fax 0544-26-4425
URL : <http://www.m-yoshimasa.com>
E-mail : yoshi@m-yoshimasa.com

総務文教委員長 就任

5月17日に臨時議会が招集され、この度、総務文教委員長に指名されました。平成22年の環境厚生委員長以来、2回目の委員長就任です。富士山世界文化遺産登録に向けた整備事業や、長年の懸案であった学校給食センター建替え事業等の重要な案件を解決するため一生懸命に取組み、まとめていきたいと思います。



伝統野菜プロジェクト ~村山にんじん~



生産農家が1件となってしまった地元の野菜である村山にんじんを復活させようと、「伝統野菜プロジェクト」を立ち上げました。県立富岳館高校の生徒が調査研究をし、県知事表彰などを受賞しています。しかし、生徒の目線での課題が何点かあります。

- ① 学校の人員的問題で、継続しての事業が不可欠である。
- ② 商品開発や提案をしても、人参の生産者が少ない。
- ③ 学校の授業があるなかで、生産、栽培の限界を感じている。



以上の点が挙げられ、これらをシンポジウムの中で村山地区の人たちに発表し意見交換を行いました。

今後、村山地区も世界文化遺産登録を控え、一層盛り上げていきたいと思います。

定例会 一般質問

6月
定例会

◆再生可能エネルギーについて

望月：脱原発を掲げ、東電の電気料値上げに反対している富士宮市が、エネルギー確保に向けた独自の取組を行ってはどうか？

部長：太陽光や風水力発電は、土地利用や景観が問題となりその辺のところの規制緩和がなければ難しい。

望月：県知事が進める内陸フロンティア構想や、総合特区制度で問題を解決してはどうか？

部長：県に提案をしていく。



震災から1年 ～陸前高田市に4回目の訪問～

4月26日、陸前高田市の戸羽市長に面会し、焼きそば1200食分をお土産に、その後の状況等の説明を受けました。一年が経過し、がれき処理が着実に行われていました。しかし、“まち”的復興は一向に進んでおりませんでした。土地利用の問題や二重ローンと先行きが見えていないのが現状です。仮設の市役所も板についていた感じがしましたが、一日も早い生活の復興を強く思いました。



2月議会

総括質疑及び予算審査での主な質疑

Q1 : 消費税増税は、国民生活に大きな影響があると思うのか?

A1 : 野田首相は、増税分をすべて社会保障に充てて還元すると述べているが、国民の購買力は低下し、少なからず景気に影響すると考える。

Q2 : 民間の活力を誘導するような、積極政策を推進すべきと思うが?

A2 : 高生産性向上や、内需産業型の誘致を進めたい。また、滞在型観光を目指すため、宿泊施設の誘致に向けた優遇制度を検討する。

Q3 : 共立蒲原病院の運営について、療養型に変更しての状況はどうか?

A3 : 一定の効果が表れ収益が上がっているが、これ以上の病床変更は、他の自治体との協議により行わない。

Q4 : 市の借金約 310 億円の内、約 150 億円が国からの交付金の肩代わりであるが、国からの返済は約束できるのか?

A4 : 数年後に交付金措置をすると言っているが、今の国の財政状況では難しいと思う。税と社会保障の一体改革でしっかりと財政計画が組めるように期待をしたい。

後援会活動報告



◇3月4日“早春の集い”を開催し約300名の来場を頂きました。

◇6月6日・10日と後援会旅行を開催し、約200名と共にさくらんぼ狩りを楽しみました。

全国氏子青年協議会より表彰

7月15日に宮城県松島町で、第50回全国氏子青年協議会の定期大会が開かれ、2期4年の全国理事の職責を離職し、功績賞が授与されました。これもひとえにお支え頂いた方々の賜物と感謝しています。



新事務所開設

昨年8月より自宅改築に伴い、閉鎖をしていました後援会事務所が完成しました。8月19日に事務所開式を行い、本格スタートです。お近くにお越しの際は是非お寄りください。

◆◆◆◆◆
望月芳将
プロフィール
◆◆◆◆◆

S52.8.12 生まれ
大宮小、二中、富士宮北高卒
平成12年帝京大学理工学部卒業
富士宮にて就職し、青年活動やNPO活動に積極的に参加
H19.4 富士宮市議会議員初当選 29歳
H22.5 富士宮市議会 環境厚生委員会委員長
H23.2 富士宮市議会 予算審査特別委員長
H24.5 富士宮市議会 総務文教委員長

創意・挑戦

